

編入学・転入学

進学後も路線を 変更できる

**編入学サポートに
力を入れる短大も**

早く就職するなら短大が専門学校、じつくり学ばなら4年制大学……。進路選択時にはつぎものの悩みだが、そこで頭に入れておきたいのが編入学だ。履修科目の種類など条件はあるが、短大や専門学校を卒業後、系列の大学または他大学の4年制学部にて3年次編入する選択肢があるのだ。

「短大で2年間しっかり学んで就職する道も当然ありますが、もっと学びたいという気持ちが強くなったら4年制大学へ編入学する道も選べる。選択肢がある分、学びのミスマッチは少なくなります」（東京家政大学・東京家政大学短期大学部 進路支援センター部長／若井絹江さん）

編入学サポートにも力を入れる短大も多い。1年秋から8回のガイダンスを開催する大阪女学院大学・大阪女学院短期大学アドミッシヨンセンター長の落合正教さんは「なぜ編入学したいのか、何を学びたいのかを明確にすることを指導の軸にしています」と語る。

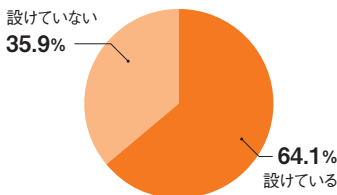
なお、編入学の試験科目は、大学にもよるが書類選考、語学、専門科目、面接というケースが多い。編入学のほかには、4年制から他大学の4年制への転入学、同じ大学内での転学部・転学科などもある。また教養学部制を採用し、2、3年次に専攻を選択できる大学を選ぶのも一つの方法。各制度の有無や実施状況は大学によって異なるのでよく調べる必要があるが、進学後の路線変更は様々なかたちで可能なのだ。

● 大学への編入学者数（平成22年度）



出典：学校基本調査—平成22年度（速報）

● 転入学制度の有無（平成20年度）



※「転入学」は学校種が同じ学校からの入学を指す。調査対象は大学・短大・高専（990校）

出典：独立行政法人 日本学生支援機構「大学等の転入学に関する実態調査」